平成 26 年４月７日

各　　位

会 社 名　株式会社リプロセル
代表者名　代表取締役社長　横山　周史
（コード番号：4978）
問合せ先　取締役 経営管理部長　片山　浩美
（TEL. 045-475-3887）

「細胞の膜電位測定用の培養液、及びそれを用いた培養方法、膜電位測定方法」の国内特許成立に関するお知らせ

この度、当社が出願しておりました特許、「細胞の膜電位測定用の培養液、及びそれを用いた培養方法、膜電位測定方法」（特許 5492477 号）の国内での権利化が成立しましたのでお知らせいたします。

本件は、医薬候補化合物の薬効・毒性評価で使用される技術であり、当社の iPS 細胞事業における細胞製品が医薬候補化合物の薬効・毒性評価の用途で期待が高まる中で、その事業展開を推進することが見込まれます。

従来の薬効・毒性評価で使用される培養液では多くのアミノ酸やタンパク質等の物質を含むため、薬効・毒性を評価する医薬候補化合物との間で相互作用や吸着が多く起こり、正確な評価が困難な場合がありました。
本発明により開発された技術を用いることにより、薬効・毒性を評価する試験の際に医薬候補化合物との相互作用や吸着が起こらずより正確な測定をすることが可能となります。また、特にヒト iPS 細胞由来の心筋細胞において、本培養液を含むことによって長期間の膜電位測定も可能となり、今後の創薬研究の発展に寄与するものと期待されます。

当社リプロセルは、2009 年に世界で初めてヒト iPS 細胞を用いた創薬支援事業を開始した、ES/iPS 細胞ビジネスの先駆者であり、現在、ES/iPS 細胞に関する世界最先端の研究成果を、研究試薬、創薬支援、テーラーメイド医療、臨床検査など広く利用できる形で事業化しております。今後とも、創薬や、再生医療などの最先端医療への貢献を積極的に推進して参ります。

なお、本件による平成 26 年３月期業績に与える影響は軽微なものと考えております。

以　上